

第19回「議員と語りかい」報告書

2班敷根 (No. 1)

| | | | |
|------|--|------|----------------------|
| 開催日 | 平成28年5月13日 19時00分 ~ 20時25分 | | |
| 開催場所 | 敷根公民館 | | |
| 団体名 | 敷根地区自治公民館 | 参加人員 | 10人 (男 9人 : 女 1人) |
| 出席議員 | 新橋 実、今吉 歳晴、中村 満雄、厚地 覺、有村 隆志、宮本 明彦 | | |
| 役割分担 | 班 長 (新橋 実) 副班長 (今吉 歳晴) 記録係 (宮本 明彦) | | |

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆昭和26年のルース台風の時、この地区は水につかった。また、若尊沖の海底火山の爆発では、3~6分で8~9mの津波が押し寄せるとされている。敷根中央地区には水門がなく、海岸線はテトラポットの沈み込み等がある。是非、国交省に対策の依頼をしていただきたい。

また、海拔4mのところにある敷根公民館が一次避難所となっている。敷根小学校跡地に避難所兼体育館などはできないか。

◇海からの災害に対する対策については、議会としても取り組んでいきたい。

◆空港から敷根地区に行くバス、敷根地区から医師会医療センターに行くバスがない。垂水線の便数も増やせないか。

◇地域公共交通会議のなかで、バス路線を検討している。

◆自治会に若い人がいない。南九州市では、自治会の見直しの動きがある。霧島市でも取り組んでいただきたい。

◆亀割牧之原線、敷根清掃センターの先で土砂崩れによる道路崩壊があり、未だに復旧していない。現場も見てください、復旧を急いでほしい。

◇復旧に着手している。崩壊が大きいため、基礎から進めなければならない。

◆市道敷根上之段線で、落ち葉が多いため側溝がよく詰まったり、水が斜面を流れてくる。災害も心配なので、治水対策を進めてほしい。

◇現場確認を含め、産業建設委員会で調査したい。

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆高橋川の上流部に大型太陽光発電施設が建設される。調整池の建設も進められているが、住民への説明会もない。今でも川は石がゴロゴロしており、土砂も浚ってもらえていない。災害が心配なため見てもらいたい。

◇霧島市内に大型太陽光発電施設の建設が進んでいる。土砂災害が心配されるし、景観条例で制限もかけられていないようだ。説明会への参加など、議員も協力したい。

◆（参加者に向かって）県外ナンバーの車が多く、県・市に税金を払ってないのが明らかである。議員は、報酬が5万円アップし、議会欠席の人に報酬が支払われていた。一般質問されない方もいる。みんなで、よく見ておきましょう。

◆議案の内容を公開してほしい。継続審査の理由を明らかにしてほしい。陳情という市民の声を謙虚に捉えてほしい。

◆議会基本条例が改定されたことを議会だよりで見た。また、議長選の立候補制も見た。いいことだ。始良市の議会基本条例は解説が付いているので見やすい。霧島市の議会基本条例ももっと見やすくなるか。

◇公開はしてないが、逐条解説付きの議会基本条例はある。見直しをして、公開できるか検討したい。